

NPO 緑の会

特定非営利
活動法人

NPO緑の会

取手市小文間

3838-1

TEL 0297-

72-8791

取手市制施行 45 周年記念
ネットワークフェア2015に出店

会場・藤代スポーツセンター

11月21日(土)

心配していたお天気も良く晴れた秋空の下、恒例のネットワークフェアに今年も出店しました。
いつものEM商品や野菜の販売に加えて、大判焼きを実演販売しました。
この大判焼きは、阿見緑の会が各種イベントで実施していることから、同会の協力を得て初めて実施したものです。
焼き方の練習を何度となくくり返して、この日までに売れるような商品に何とかこぎ付けることができました。
大勢の会員が分担して配置に付き、各種商品を販売しましたが、大判焼きも予定していた材料を全て使い切って完売しました。
お昼には、会員が頑張った前日から仕込んで下さったカレーが振舞われ、皆さん販売する傍ら、交代で美味しくいただきました。



11月13日(金)
つつじ園で
EMボカシ講演会を開催
つつじ園でNPO緑の会が講師となって「EMボカシ講演会」が30名ほどの参加者で開催されました。
映像を使って、微生物の働きからEMの解説、EMボカシの使い方など講演し、みなさん熱心に聞いたり、質問をしたりして好評でした。

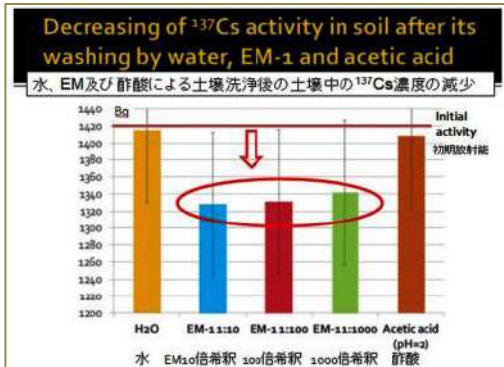
1000年後も2000年後も緑豊かな美しい地球であってほしい!

**復興支援 環境フォーラム(第5回)
うつくしまEMパラダイスIN東京
映画「蘇生」と「講演会」**

NPO緑の会からは、会員や会友など80名が参加し熱心に視聴していました。

白鳥監督の映画「蘇生」は、地球最古の生物である微生物たちの驚くべき力を比嘉教授をはじめ様々な研究者の研究成果から解き明かし、微生物とりわけEMの蘇生能力から、地球規模で抱える汚染問題の解決策を探る映画でした。そして、次世代の子供たちに美しいふるさとを繋いでいく為に、私たちは何ができるのか? 地球規模で抱える様々な問題の解決策を探る必要性を訴える映画でもありました。

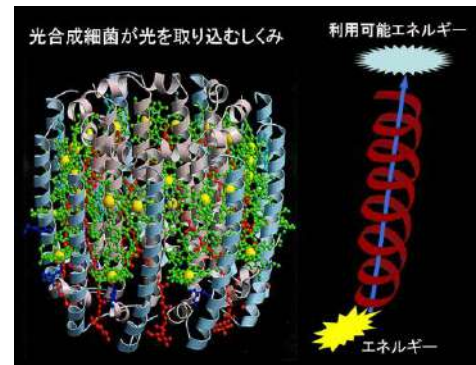
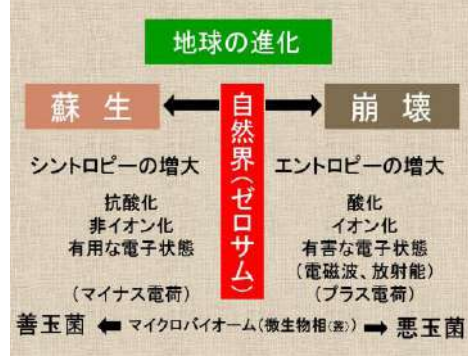
ベラルーシ科学アカデミー放射線生物学研究所のニキティン博士などの研究発表では、チエルノブイリ原発事故後のベラルーシでの甲状腺がんの状況を説明し、日本でも同様におこる可能性などに付いて説明しました。また、EMを散布して放射線量や放射性物質を低減するという日本のEMユーザーからの報告に、なにかの間違ひでは? 正しく測定されていないのでは? と懐疑的だったことを認めた上で、「水、EM及び酢酸洗浄後に土壌に残留したセシウム137を計



測した結果、EMが他に比べてより多く低減したことを確認した等と発表しました。**比嘉教授の講演は、**EMのもつ蘇生のエネルギー、「整流」の話に大変興味深い講演でした。

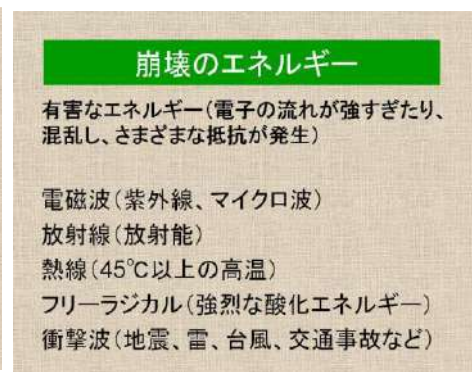
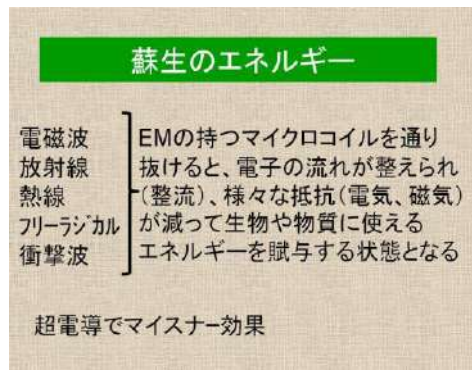


近年のマイクロバイオーム(微生物相(叢))の研究は、人間の健康や環境のあり方や生物多様性もすべて微生物によつて支配されていることを明らかにしており、EMの驚異的な成果は、このマイクロバイオームの制御の応用とい



うことにつながっている。その蘇生の根元(源)をつきつめていくと、ある種の微生物は超電導と半導体的機能を持つており、電磁気抵抗ゼロという万能性を持つていものもある。それらの微生物の大半は、嫌氣的性質が強く、地球に存在する放射能や電磁波や強烈な酸化エネルギーを半導体

編集後記
自然界のすべての物質は中性子をベースとした陽子と電子で出来ているエネルギー体で、半導体と超電導の機能を持つ微生物は、それらの万物のエネルギーをネガティブからポジティブに整流しているとのこと。チヨット難しいかも。KF



または超電導的に整流し、有用なエネルギーに転換する性質を持つていとのこと。